

### 令和6年 2月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

■塗りつぶしの日には休館です。



Pick Up!

### 『戦国武将伝 西日本編』 今村翔吾/PHP 研究所/F 17

秀吉、毛利、長宗我部、島津、黒田官兵衛、松永久秀、立花宗茂…。近畿・中国・四国・九州の武将24人の、胸が熱くなる、くすりと笑える、ほろりと泣ける逸話を描く掌編小説集。『歴史街道』連載を単行本化。同時刊行の「東日本編」と合わせて47人から推し武将を見つけませんか？



### 『絵本とは何か』

松居直/筑摩書房/019.5 マツ 文庫

良質の絵本とはどういうものか、子どもはどんなふう絵本の世界へ入ってゆくのか。福音館書店で数々の名作絵本を世に送り出し、日本の児童出版文化の礎を築いた著者が、絵本の本質と魅力について論じる。

### 『<私>を取り戻す哲学』

岩内章太郎/講談社/104 17

なぜスマホを見続けてしまうのか。何をしたいのか。何が本当に必要なのか…。スマホ時代の過剰なつながりによって私たちにもたらされた<私>の喪失に、どう抗うのか。気鋭の哲学者が現代を生き抜くための思考法を明かす。

### 『おみくじの歴史』

平野多恵/吉川弘文館/176.8 ヒラ

おみくじはいつから存在し、誰がつくり、なぜ和歌や漢詩が書いてあるのか。おみくじに関する文献を収集・分析。謎多きルーツを辿り、日本の社寺の風俗として定着した魅力に迫る。現代の漢詩みくじ、和歌みくじも紹介する。

### 『平安ものことひと事典』

砂崎良/朝日新聞出版/210.3 ササ

平安時代、とくに一条期にまつわる1576項目をやさしく解説した事典。その言葉が使用されている古典作品を紹介し、細部までこだわったイラストを掲載。当時の出来事を知ることができる「平安みやこ新聞」も収録。

### 『戦国大名は経歴詐称する』

渡邊大門/柏書房/288.3 ワタ

戦国大名の出自は、実に謎が多い。出自を「盛り過ぎた」例、名家の姓を「乗っ取った」例、源氏や平家を先祖に求めた例、出自が不明な例の4つのグループに分けて、系図や史料を検証しつつ、武家のルーツに迫る。

### 『知図を描こう!』

市川力/岩波書店/375 17 青少年

「知図」とは、自分の足で歩いて気になったモノやコトを自由に描く、自分だけのオリジナルな好奇心の記録。好奇心のフタを開き、なんでも面白がれる感性を育む知図づくりの魅力を紹介する。

### 『日本人のしきたり』

飯倉晴武[編著]/青春出版社/385 17

日本人が長い歴史のなかで培ってきた生活の知恵であり、豊かな人生観の表れでもある年中行事やしきたり。いまに残しておきたい年中行事・しきたりを紹介するとともに、その歴史的な由来を探る。新たな情報を加えた新装版。

### 『顔に取り憑かれた脳』

中野珠実/講談社/491.3 ナカ

人はなぜ顔写真を加工するのか。そのカギは脳の働きにある。脳科学や心理学、人工知能などの情報科学に焦点を当てながら、「顔」と「脳」の密接で精巧な関係を紹介。それらが自己意識の形成にまで影響を与えることを論じる。

### 『疲労とはなにか』

近藤一博/講談社/493.1 コン

うつ病も新型コロナ後遺症も、疲労とウイルスの問題だった! 注目の遺伝子「SITH-1」発見者が、疲労を科学的に解析し、疲労が生じるメカニズムやうつ病との密接な関わりなど、疲労の全体像を明らかにする。

### 『耳は悩んでいる』

小島博己[編]/岩波書店/496.6 コン

聞こえない、つまる、ひびく、痛い、かゆい。現役耳鼻咽喉科医らが、繊細で未知な部分も多い「耳」の症状や、病気、耳の症状に隠された別の病気などをわかりやすく解説。聞こえと認知症との関連など、最新の知見も紹介。

### 『明治の地方ビール』

牛米努/吉川弘文館/588.5 ウシ

近代の幕が開けた日本には、全国各地に小規模な醸造所が相次いで誕生した地方ビールの時代があった。黎明期から国内産業振興で発展し、税制改正により終焉を迎えるまで、地方ビールの歴史を平易に解説する。

### 『推しぬいコーディネート BOOK』

日本文芸社[編]/日本文芸社/594.9 ニホ

推しぬいをおしゃれにコーディネート! もこもこ素材の靴下で作るウェア、基本の編み方だけでできるセーターやニット帽、ぬいサイズのアクセサリーの作り方などを紹介する。コピーして使う実物大型紙付き。

### 『粕汁の本はじめました』

松島むう/西日本出版社/596 マツ

京阪神を中心とした近畿圏において、粕汁とは冬のソウルフード! おいしい粕汁、変わった粕汁、清酒発祥の地と言われる場所の粕汁、食堂の粕汁、立ち呑み屋の粕汁など、日本全国の粕汁を食べ歩いて紹介する。

### 『知らなきゃ損する新農家の税金』

鈴木武/農山漁村文化協会/611.8 スズ

所得税の計算から譲渡所得税、申告書提出の注意点、消費税を納める際の留意点、令和5年分の決算(令和6年2~3月申告)以降の確定申告に適用される税制改正のポイントまで、農家の税金について解説。インボイス制度に対応。

### 『地主の真実』

松本隆宏/マネジメント社/673.9 マツ

地主を取り巻く社会経済環境は年々厳しくなりつつある。地主同士が問題を共有し解決していけるよう、地主が抱えている問題やストレスと、その問題の核心が何であるかを、6つのエピソードとともに解説する。

### 『文化財の未来図』

村上隆/岩波書店/709.1 ムラ

国宝、重要文化財だけではない、“身近な文化財”こそ重要な意味を持つ。容易に失われるそれらを<ものづくり文化>とともにつないでゆくには? 文化財の歴史と現在、未来を、現場に立ち続ける第一人者が熱く語る。

### 『証言雪崩遭難』

阿部幹雄/山と溪谷社/786.1 アベ

科学は進歩し、雪崩発生メカニズムが明らかになっているのに雪崩事故はなくなる。雪氷学の専門家が、近年の7件の雪崩事故を徹底検証。雪崩発生メカニズムを解説し、遭難当事者の証言から事故の実像を解き明かす。

### 『世にもあいまいなことばの秘密』

川添愛/筑摩書房/810 カワ

「冷房を上げてください」「私には双子の妹がいます」「2日、5日、8日の午後が空いています」…。言葉のすれ違いの事例をもとに、言葉の複雑さや面白さを紹介する。問題とその答えも掲載。

### 『図説日本語の歴史』

今野真二/河出書房新社/810.2 コン

日本語はどのような姿かたちをして残されてきたか。古事記、古今和歌集、源氏物語、江戸期の辞書、漱石の手書き原稿…。歴史をいろうる貴重な文献の数々から「書きことば・はなしことば」の変遷を読む。

### 『紫式部の言い分』

岳真也/ワニ・プラス/910.2 カ

紫式部は「光」に「自分の思い」を託した? 手練の作家が「源氏物語」を紫式部の私小説として読み解く。紫式部の生涯や、藤原道長との間柄についても解説する。

### 『姿なき招待主』

グウェン・プリストウ/扶桑社/933 フリ

奇妙な電報によって、摩天楼のペントハウスに集められた、街の名士8人。それはおそろべき死のゲームへのいざないだった。密室状況のなか進行する巧緻な殺人計画。犯人は誰か、そしてその目的は…。『九番目の招待客』の原作。

### 『この銀盤を君と跳ぶ』

綾崎隼/KADOKAWA/F アヤ

卓越したセンスと表現力の京本瑠璃。圧倒的身体能力の雛森ひばり。残り1つの女子フィギュアスケート五輪出場枠をかけて戦う2人を導いたのは、それぞれのパートナーだった。『小説野性時代』掲載を単行本化。

### 『墓じまいラプソディ』

垣谷美雨/朝日新聞出版/F カキ

「絶対にお父さんと同じお墓には入りたくない!」四十九日の法要を目前に控え、突然明らかになった姑の遺言。五月は、騒動の行方をワクワクしながら見ていたのだが…。『小説トリッパー』連載を単行本化。

### 『ファラオの密室』

白川尚史/宝島社/F シラ

紀元前1300年代後半、古代エジプト。死んでミイラにされた神官のセティは、心臓に欠けがあるため冥界の審判を受けることができない。欠けた心臓を取り戻すために地上に舞い戻り、自分が死んだ事件の捜査を進めるが…。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

図書館ホームページ

